

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

国民健康保険に加入の皆さんへ 保険証が九月から「クリーム色」に

みなさんのお手元にある保険証が九月一日から「クリーム色」になりました。

このため、病院・診療所等で受診する場合は「クリーム色」の保険証で診療を受けましょう。

今までの「はだ色」の保険証は八月三十一日かぎりで使用できなくなりましたので、役場町民課までお返し下さい。

自衛官募集

防衛庁では、自衛官(二等陸・海・空士)を次のとおり募集しています。

- 受付期間 年間を通じて行っています。
- 応募資格 日本国籍を有し、採用予定月の一日現在十八歳以上二十五歳未満の男子。
- 試験期日及び試験場 受付時にお知らせします。

で引き続き交付を必要とする方は改めて申請して下さい。

● 新しい保険証を受けとったら……
新しい保険証を受けとったら、注意事項をよく読んで使しましょう。

● 届け出は早目に！
世帯主の方は、自分の世帯の被保険者の資格に異動があった場合には必ず十四日以内に届け出るようにして下さい。

衣・食・住

隊員は全員隊内の宿舎で起居します。また食事、宿舎費は無料、被服費、寝具等も支給又は貸与されます。

● レクリエーション活動など
各駐屯地では、運動施設、娯楽室、図書室、売店などが設置され、グループ活動も盛んです。
※詳しいことは、役場町民課又は自衛隊長岡出張所☎331-035へお問い合わせください。

食中毒の予防に 努めましょう

高温、多湿の日が続いている為、食中毒が多発しております。次の点に注意して食中毒の予防に努めてください。

■ 食品を調理する時
「清潔」、「迅速」、「加熱」、または「冷却」に心がけてください。

■ 魚貝類を調理する時
腸炎ビブリオの食中毒を防ぐため十分に真水洗いをした後で、調理するようにしましょう。

■ 調理器具
まな板、包丁、フキン等は十分に「洗浄」、「殺菌」、「乾燥」したものを使用して下さい。

9月10日は——
全国下水道促進デー
すてきだね
きれいな川と
下水道

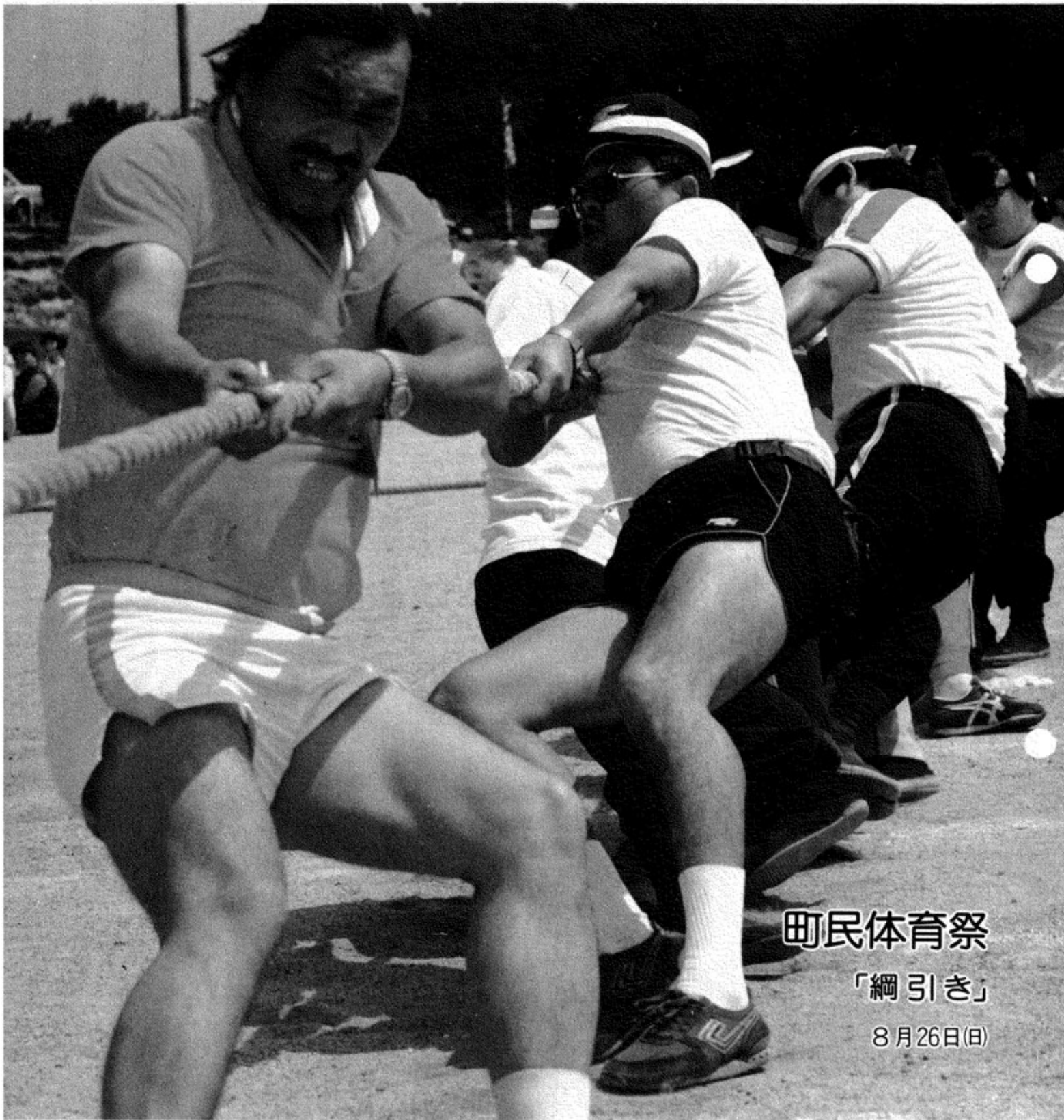
■ 冷蔵庫の中に、物を入れすぎないこと、また、冷蔵庫は過信しないようにしましょう。

囲碁将棋 お盆大会結果

囲碁の部	将棋の部
総合優勝 大淵 公男	総合優勝 関 勝人
総合準優勝 栗原 稔	総合準優勝 佐藤 信夫
A組二位 小宮山忠男	松組二位 星野 健一
三位 大橋 快泉	三位 渡辺 誠
B組二位 目黒 幸夫	竹組二位 安達 三郎
三位 上村喜平治	三位 平沢 錦次

人口	6,427人	平成2年9月1日現在
男	3,124人	
女	3,303人	
世帯数	1,514戸	

町民体育祭 「綱引き」 8月26日(日)

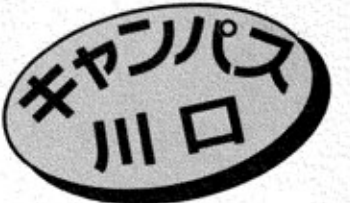


おもな内容	家族旅行村が完成……………2～3	「むら」の新聞 作りつづけて16年……………11
	“はばたけ青春。第40回成人式……………4～6	みんなのコーナー……………12
	少年リーダーのつどいに参加……………7	スポーツコーナー……………14～17
	第32回町民体育祭……………8～10	お知らせコーナー……………18～20

「野外学習のむら」づくり順調に進む!!

観光レクリエーション地区 施設整備事業 家族旅行村が完成

— 九月二十一日に開村式 —



素晴らしい 交流の場
そして、この野外学習のむらは、自然と人間とのふれあいから、人と人とのふれあいへ……そして、おもいやりの心を学ぶ「むら」を目指しており素晴らしい交流の場となることでしょう。

昭和六十一年に、県の家族旅行村の指定を受けて進められていた「観光レクリエーション地区施設整備事業」が完成し、この九月二十一日に開村式が行われます。



▲ 9月21日の開村式を待つ「滞在型家族旅行村」

滞在型のリゾート地を目指す 大型プロジェクト

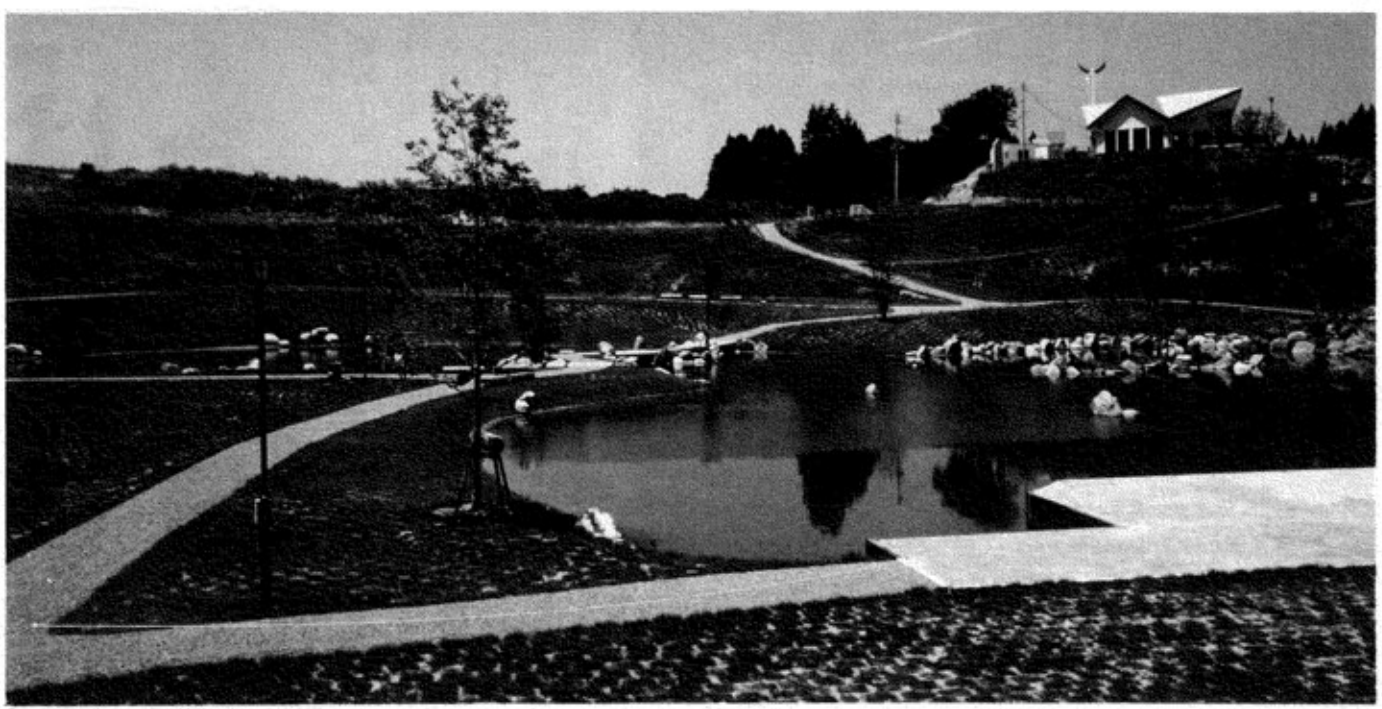
この家族旅行村は、滞在型のリゾート地を目指して、県内では初めて当町に導入された大型プロジェクトで、(国(運輸省)の観光レクリエーション地区施設整備事業と県の地域バイタリティ育成事業による二つの国・県補助を受けて進められていたもので、昨年春オープンした「オートキャンプ場」をはじめ「ファミリーゴルフ場」、「ローラースケートロード」などに続き、このほど「ピクニック緑地」と「水上ステージ」を備えた五万人集会ができる芝生広場、遊歩道が完成。総事業費は、約四億六千九百万円。

誘客の増大と町活性化に 大きな期待

また、町はこの二つの事業の導入による施設と、既存の総合運動公園施設を「野外学習のむら」づくりとし、「生涯学習のむら」、「原始古代むら」とともに、三つの「むら」づくりによる滞在型家族旅行村の建設を大きく進めています。このほど完成した家族旅行村と開村式により、野外学習のむらは、より一層充実した施設となるとともに、県内外から大きな脚光を浴びることとなり、誘客の増大による町の活性化が大きく進むものと期待されています。

愛称は「キャンプパス川口」

また町は、人と人とのふれあう、この素晴らしい交流の場「野外学習のむら」と地方でゆとりとやすらぎのある住まいを確保し、老後を安定させる、新しいふるさとづくりを目指す「生涯学習のむら」と原始古代を体験し、子供たちの開拓精神を培う「原始古代むら」の三つのむらによる滞在型家族旅行村の愛称を「キャンプパス川口」と命名。このキャンプパス川口により、二十一世紀に向けた新しい町づくりへの一歩がスタートすることなりました。



▲ 川口中山高原旅行村 「レストハウス」に「ピクニック緑地—エントランス広場、ピクニック広場、ドングリ池、青空音楽広場、東屋、流れ、滝、島、園路」などを備えた立派な施設がお目見え。



面積 95,000㎡ ショートコース 18ホール バー54 ナイター設備 9ホール

ファミリーゴルフ場



オートキャンプ場



面積 20,000㎡ オートキャンプサイト—20サイト 1区画(野外炉、野外卓、炊事場、水洗便所) ファイヤーサークル2ヶ所、温水シャワー



▲ ローラースケート遊歩道 往復1,000m

“はばたけ青春”

成人の第一歩を

ふみだす

第四十回

祝成人式

第四十回川口町成人式は八月十四日、サン・ローラ川口で行われました。

ことしの成人達齢者は、昭和四十四年四月から翌年の三月までに生れた者。この年の七月、アメリカの宇宙船アポロ十一号が月面着陸に成功、宇宙時代の幕明けとなった記念すべき年でありました。また、経済の高度成長が続き、激しい学園



▲「成人式」8月14日 サン・ローラ川口で……記念撮影

闘争もこの頃で、達齢者はそんなときに産声をあげ、その後の時代のうつり変りのなかを立派に成長して、成人の第一歩を元年に踏みだしたわけです。

この日、青柳町長は式辞のなかで成人を祝福するとともに立派に発展している川口を誇りに思っ、新しい人生を開拓するよう激励しました。また、二十一世紀へ向けての町づくりや川口町の施策の方向をわかりやすく四つの柱に分けて説明し、越後川口インターチェンジと中山高原を結びつけることが、高速交通時代における町づくりの大きな役割りになるとして、「野外学習のむら」「生涯学習のむら」さらに「原始古代むら」の三つの大きなプロジェクトで、「滞在型家族旅行村」を建



▶成人を代表して「誓いの言葉」を述べる古田島夏雄(中山)さんと小林美幸(八郎場)さん。

創造性豊かな活力のある人間に成長されるようこれからの人生に挑戦してくださいと結びました。

若者の活気と考える

町発展に
協力したい

式典では、成人を代表して古田島夏雄君と小林美幸さんの二人が、およそ次のような成人の誓いを述べました。

成人式を迎えて、私達はこれから自分達が担って行く、「成人」としての責任の重さを今真に実感しています。満二十歳となる私達には、国民として最も重要な選挙権が与えられ、これによって国政にあるいは地方政治に参加する機会を得ることになります。

私達は若者らしい活気と柔軟な思考を持って、社会生活や地域発展の推進に協力していかなくてはなりません。

成人として与えられる社会的自由或いは義務は自ら私達が、社会を構成していくメンバーの一員、当事者であるということに自覚し、個人の持

つ能力が社会へ有効に還元されることを求められているということでもあります。

私達はこれらの町政に、若者の声を活かされていくようにしっかりとした考えを持ち自分達から進んで参加していかなければなりません。又そこで、この町が私達の町であるという意識も高まり町を愛するということも生まれると思

います。

現在、社会では均一化し没個性となった発想や思考よりも、今までになかったような独創的で創造性のあるものが望まれています。こういった社会の流れの中でこそ私達若者だけが持ち得る活気、エネルギーが生かされると考えます。そして、この若い力を地域社会の発展に向けて生かして、社会人としての自分の役割を見出し、務めを果たしていかなければなりません。

これから先の道のりで、時には失敗や挫折があるかもしれませんが、町民の皆さんの理解をいただき、今後の社会そして明日の川口町の発展のために、力強く前進していきたいと思

なお、今回成人式を迎えられた方は八十八名です。成人を迎えるの決意や喜びなどを三人の方から寄稿いただきました。ご紹介し

今後の課題



星野裕一さん(野田)

二十歳という年齢は、今までの自分とこれからの自分を大きく変える一つの節目であると思う。今までの自分は、本当に苦勞を知らずトントン拍子で今の大学まで来た。実際スキーばかりの人生であった。

そして二十歳。六月に行つた足の手術が、これからの自分は今までとはちがうぞと言っているようなものだ。足がちぎれそうな痛みそして発熱。大学を卒業すれば就職。「あ、その前に卒業できるかどうか

も重大なことだった。今まで何の苦勞もしなかった自分、それこそスキーのことしか知らなかったのに、これからは大人としてあらゆる問題に立ち向ってゆかねばならない。

甘ったれの自分にそれができるとか不安であるが、人にたよることが許されなくなった今、自分の力を信じ、大きい心を持った人間に変わってゆきたい。今まで育ててくれた両親に感謝し文を閉じたいと思う。

成人式を迎えて



星野慎子さん(川口4)

先日、成人式に出席させていただきました。有難うございました。

今迄は何事につけても家では両親に、社会では先輩に甘えてきたような気がします。選挙権もあたえられ、これを

内面的にも大人になりたい



関あや子さん(西倉)

『内面的にも大人になりたい』成人式を迎えて私自身、特に変わった事はありませんが、周囲の方々から一人前の大人として認めていただいたことがとてもうれしかったです。

またその反面、自分の行動には責任を持ち、今までの様に両親にあまえてばかりい

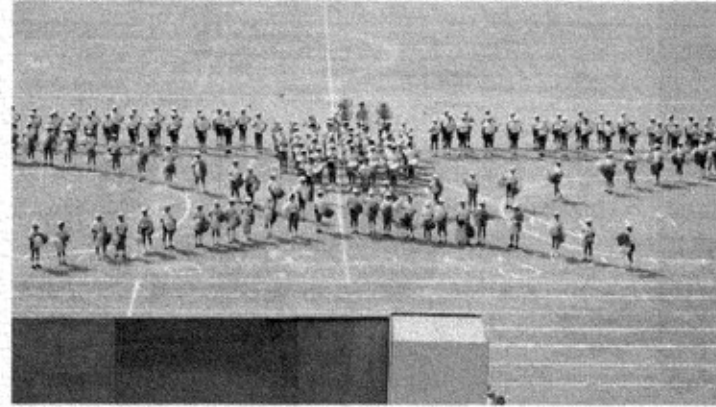
事にしてゆきたいと思ひます。時間とお金があるせば、度々帰って来て、リフレッシュして、また東京で頑張るような生活がしたい。と考えていま

これからは人と人とのふれ合いを大切に温かみを失われない人間になる様心掛けて頑張っていきたいと思ひます。

世の中には、大人だと言っても、行動が伴わない人が大勢いるように思ひます。平気で道路にゴミを捨てたり、人におつかつても、「すみません」という一言が言えなかつたりあいさつがきちんと出来なかつたり、ほんの些細な事ですすが、そういう当り前のことが出来ない大人にならない様に、心がけたいと思ひました。

外見だけ大人になるように努力するよりも、内面的な、モラルのある大人になれる様に努力して行きたいと思ひました。

今年も子どもたちが活躍!!



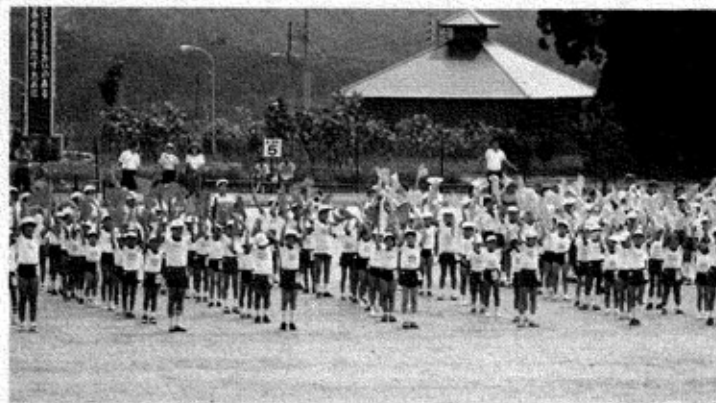
▲マスゲーム
「川口小学校鼓笛隊」



▲アトラクション
「川口あおり太鼓」



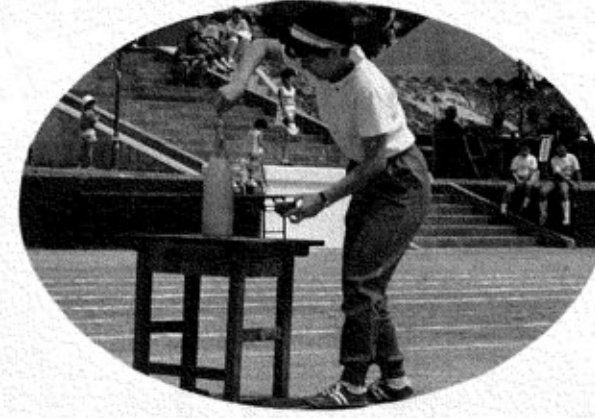
▲アトラクション
「少年消防クラブ鼓笛隊演奏」田麦山



▲アトラクション
「トランペット鼓隊演奏」泉水小



▲「幼児レース」
将来の陸上選手か?



▲「水くみレース」
うきを取る瞬間



▲一生懸命走る「学校対抗リレー」
小学1年生から6年生まで



▲ニュースポーツ
「グランドゴルフ」を披露

町民体育祭は八月二十六日(日)、新装なった総合運動公園グランド(川口・中山高原陸上競技場―第四種公認)で、町民約千二百人余りが参加して開かれ、七地区館対抗で熱戦が繰り広げられた。そして、町内小学生によるマ스ゲームやアトラクションが華やかに祭り一色、選手も応援も皆んなで体育祭を楽しみ、スポーツの輪が大きく広がった。去年は雨のため中止。今年



健康と心のふれあうスポーツの町

町民体育祭(第三十二回)

スポーツの輪 大きく広がる!!

祭日和。午前九時、川口中ブラスバンドの吹奏に合わせ、一昨年優勝の西川口地区館を先頭に堂々の入場行進。選手宣誓は小林利一さん(泉水地区館)。

体育祭は、ジャンケンリレーをはじめ、馬とびレース、学校対抗リレー、百足競争リレー、地区館対抗リレーに、新種目ラッシュアワーリレーなど十

四種目にわたって行われた。また、町体育指導員によって、ニュースポーツ「グランドゴルフ」が紹介されるなど、体育祭は今年も盛大に行われた。優勝は西川口地区館に輝き、準優勝は東部地区館、三位は田麦山地区館。



▶「選手宣誓」



▶「ジャンケンリレー」早くカードを10枚取ったチームが勝ち



▲「持久走」中学生が活躍



▲「馬とびレース」19の馬を飛ぶ



新聞「たむぎやま」は、昭和四十八年四月に第一号を発行。以来、先輩から後輩へと引き継がれ、休むことなく発行され、地区のコミュニティづくりに大きな役割を果たしてきた。発行のきっかけは……、当時、純農村であった田麦山も、時代の移り変わりと共に、田んぼの中で声を掛けあった友も勤め人となり、コミュニケーションも薄れがち。連帯意識の薄れる中、子供も大人

発行の動機

田麦山地区館では、地区館活動の一つとして、毎月新聞「たむぎやま」を発行しています。地区内の出来事や話題などを載せ続けて今年で十六年。発行号数は、この九月でちょうど二〇〇号を数える。

「むら」の新聞 作りつづけて十六年

二百号を記念して

縮刷版発行も……

**田麦山地区館
新聞部**

も、お父さんもお母さんも、そして、お年寄りも、皆んなで話しあって住みよい「むら」にしよう……、その一つの方法として考えられたのが、新聞「たむぎやま」。

毎月二十日発行
お父さん、お母さんを
中心に夜作業

新聞は、B4版で毎月二十日発行。発行部数は三〇〇部。地区内は勿論、県内外の地区

出身者にも配布される。勿論新聞づくりは、勤めから帰ってきてからの夜の作業だ。作業には、同地区館の新聞部があたり、スタッフは現在お父さんやお母さんを中心にして十人余り、記事の取材から企画、編集、活字にするまで全てスタッフの仕事。最近までは鉄筆を片手にガリ版切り、そして膳写板印刷と、文字通りの手づくり版。でも現在は三年前に導入したワープロが活躍、印刷も外注となり作業は楽になったとスタッフは話す。しかし、一番苦労するこ

夜遅くまで打合せ

でも、スタッフは、よりよい新聞づくりに情熱を燃し、今月も夜遅くまで打ち合わせが行われ、集めた記事を一生懸命にワープロに打ちこんでいた。

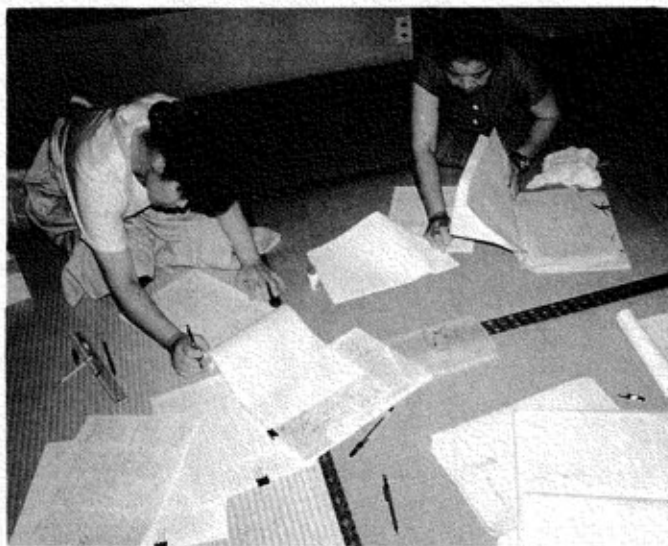
「100号記念
縮刷版」

十一月に発行予定

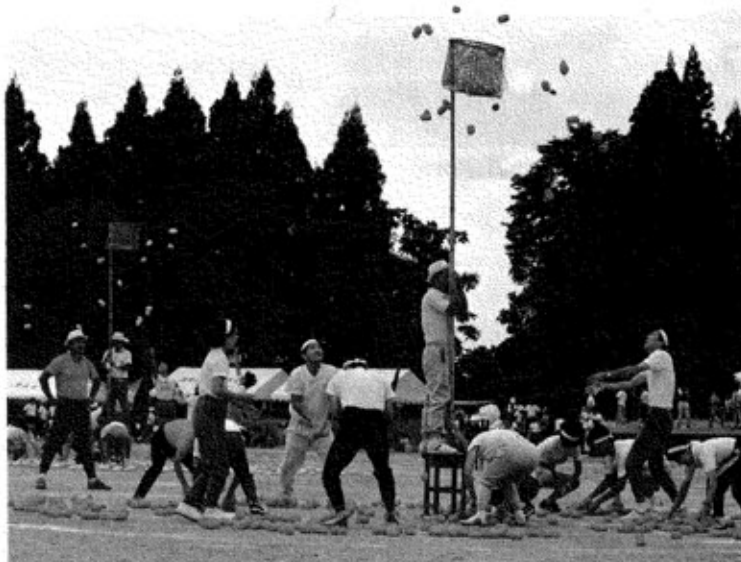
また、新聞「たむぎやま」二〇〇号を記念して、同記念縮刷版発行も計画され、現在の作業も始まり、昭和四十八年の初号から一つひとつ、不鮮明になった文字の校正などにスタッフは取り組んでいた。ちなみに、記念縮刷版はこの十一月頃に発行予定。



▲ワープロを前に作業を進める新聞部の皆さん。



▲記念出版に向けて作業も急ピッチ。



▲「紅白玉入れ」



▼新種目
「ラッシュアワーリレー」



▲「地区館対抗リレー」
地区の期待を背負って……



▶「綱引き」
歯をくいしばって頑張る



▶「アベック二人三脚」



▲「大なわとび競争」



▲百足で競争リレー

みんなのコーナー

若いうちに見聞を広め、国際感覚を身につけてもらおうと、県教育委員会が一昨年から実施している高校生の海外派遣で、当町の小千谷高校一年堀沢美和子さん(野田・誠さんの長女)が参加しました。このほど、その時の感想文が寄せられましたのでご紹介します。

なお、この海外派遣は、県内の高校一年生を対象に、今

回三十人がアメリカに派遣されました。派遣された三十人は、一人一人近い希望者の中から、作文、面接などの試験を経て選ばれたものです。

堀沢さん一行は、さる七月十八日から二十五日間、イリノイ州スプリングフィールド市にホームステイによる生活体験や語学研修を積み、シカゴ、ロサンゼルス、サンフランシスコなどを見学。



▲ホームステイ先でアメリカの娘さんと...

米国派遣研修に参加して

堀沢 美和子

ロサンゼルスへ 飛行機で九時間

七月十八日、八月十一日の二十五日間の間、私は県の派

遣する三十人の一人としてアメリカ合衆国を訪れました。十八日に成田を出発して飛行機で九時間、ロサンゼルスへ着きました。空港を出ても実感がわかずポーツとしていました。ロサンゼルスでは二十日まで二日間の間観光を楽しみました。ロスはとても天気が良く、あまりに



晴天続きなので水不足となりレストランなどでは頼まなければ水を客に出してはいけない、という規則があるようで、それを聞いた時すこいなあと思いました。

二十日間の

ホームステイで

楽しかった語学研修

それからロスを後にして七月二十一日から八月四日までの約二週間の間、イリノイ州のスプリングフィールドでホームステイを体験しました。スプリングフィールドはリンカーンが若き日を過ごしていたという所で街のあちこちに

リンカーンにまつわる物を見つけることができました。私はいつもは午前中は教会で他の二十九人の学生と共に語学研修を受け、午後からは二日に一回、スプリングフィールドの観光をしました。語学研修の内容はというと、ゲームをしたり、歌を歌ったりというような、幼稚園クラスのものでしたが、とても楽しい授業でした。

ホームステイをした家では、とても良くしてもらい、週末にはセントルイスへ旅行に連れて行ってもらいました。肝心の英語はどうだったかというと、今まで学んできたような文法とか三人称とか受動態は全く関係なく、とにかく自分の言いたいことが相手に伝わればいいだけでした。初めのうちは聞き取ることができず、何度も何度も聞き返していましたが、最後には人の会話も片言は分かるようになりました。

シカゴへ、そしてセントルイスからサンフランシスコへ、それからバスでシカゴへ、シカゴでは二日滞在してそれからまずは飛行機でセントルイスへ、そこからまた飛行機でサンフランシスコへ行きました。サンフランシスコはとても涼しく、長袖でちょうど良いくらいでした。サンフランシスコでは、お土産を買ったり観光を楽しみましたが、日本人が多かった事が印象に残っています。

もつと英語を

勉強していれば

よかつた!

この派遣について後悔している事は、もつと英語を勉強していれば良かった、という事です。なんとかなるさ、という甘い考えの私がバカでした。もうこのような機会は二度とないと思います。ですからこの二十五日間の貴重なとても良い思い出を一生大切にしていきたいと思えます。

秋の全国交通安全運動 九月二十一日～三十日

ルールとマナーを再点検

交通事故によって亡くなった人は、昨年一年間で一万一千人を超え、過去十五年間で最悪となりました。今年に入っても依然増加の傾向にあります。

スピードの出し過ぎなどによる若者の事故、歩行中・自転車乗用中の高齢者の事故や、致死率が昼間の三倍である夜間の事故、土曜・日曜の週末の事故が多発しています。

重点目標は三点

今年の「秋の全国交通安全運動」の重点目標は、①「若年運

転者による無謀運転の防止」
②「シートベルト・ヘルメットの正しい着用の徹底」
③「違法駐車・の締め出し」の三点です。

①無謀運転は命とり
運転は、車線を守り、車間距離を十分とって、交差点などでは安全確認をきちんと行い、危険な運転、迷惑な運転はしないことです。

②シートベルト・ヘルメットは安全への命綱
自動車事故で亡くなった人の七割以上がシートベルトをしていなかった人です。していれば、かなりの人が命は助かったといわれています。

③違法駐車は命を脅かす
違法駐車は、道路を狭くし、歩行者や自転車の通行を妨げ、交通事故の原因となります。違法駐車は絶対にやめましょう。



二輪車は、バランスを崩しやすく、転倒しやすい乗物です。ヘルメットも、かぶっているだけでは無意味。正しく着用して初めて効果があります。二輪車

の死亡事故の約五七％は頭部損傷や顔面損傷によるものです。

ヘルメットを正しく着用して安全運転を!

③違法駐車を締め出そう!
自分だけは、が、いつの間にか、多くが、になり、皆が困っています。路上駐車が円滑な交通を阻害し、交通事故をも招くなど、いかに迷惑を及ぼしているかは、周知のとおりです。

車をもつなら継続して保管場所を確保しましょう。違法駐車は絶対やめましょう。違法駐車は絶対にやめましょう。違法駐車は絶対にやめましょう。

家族で話し合おう

「秋の全国交通安全運動」この機会に改めて点検し、見直してみよう、自分自身を、家族を、職場を、地域社会を。交通安全ルール、交通マナーに沿った安全行動がとれているか、交通安全を阻害するものはないか。期間中に、家族で一度話し合ってみましょう。



芭蕉野分して たらいに雨を聞く夜かな——これは雨漏りがして、たらいに雨を受ける光景をうたった芭蕉の句です。しかし、いまではこうした様子はほとんどみられなくなりました。

野分

野分は、秋から初冬にかけて吹く台風のことです。台風のある荒涼とした風景の意味に、使われることもあるようです。「野分だ」という言葉もあります。

ところで、台風は風水害をもたらしますが、このほか災害には地震、ゲリラ豪雨、津波などによるものがあります。こうした災害を防ぎ、被害を減らすためには、日ごろからの備えが大切です。



九月一日は「防災の日」。八月二十日から一週間は「防災週間」です。防災訓練などに積極的に参加しましょう。

川口まつり協賛

90スポーツフェスティバル 各種大会結果

川口まつり協賛行事(主催 町体育協会・公民館)の一 つとして開かれていた「90ス ポーツフェスティバル」によ る各種大会が行われ、熱戦が 繰り広げられました。

ゲートボール 大会



- 優勝 田麦山大形チーム
準優勝 貝之沢チーム
三位 牛ヶ島千歳会チーム
四位 川口第二チーム



夜間

バレーボール大会

- 優勝 排球会
準優勝 東小千谷スポーツ愛好会
三位 ベガサス

町内少年少女

陸上競技大会



- 優勝者のみ
男子(小学生は学年別)
100M 関 裕樹(川小五)十五秒九
200M 関 裕樹(川小五)十六秒〇
400M 岡村崇央(川中二)十三秒五
800M 山田雅久(川中二)二分五秒八
1500M 佐藤秀明(川中二)五分三十二秒〇
走中跳 小宮山一博(川小五)三M六四
小宮山裕久(川小六)四M三二
岡村 崇央(川中二)四M十八
女子(小学生は学年別)
100M 桜井ひろみ(田小五)十七秒一
喜多村千晴(川小六)十八秒一

新潟県スポーツフェスティバル マスターズ陸上競技大会

山田英夫(西川口)さん

円盤投で優勝 砲丸投は二位

中高年齢者を対象とした第二回新潟県スポーツフェスティバルマスターズ陸上大会は八月五日、新潟市陸上競技場で二百人余が参加して開かれ、当町から参加した山田英夫さん(五十八歳、西川口)が、五十五歳〜五十九歳クラスの円盤投で見事優勝、砲丸投げでも二位を獲得するなど、実年パワーを発揮。昨年(円盤投二位・砲丸投三位)に続き活躍され、好成績を収めました。同フェスティバルは、スポーツに親しみ、健康と体力の向上と生涯スポーツの振興を図ろうと、昨年から開催されているものです。
なお、来年の第三回大会は上越市で開かれます。県では多くの中高年齢者の参加を望んでいます。詳細については町教育委員会にお問い合わせください。

小学生水泳大会

町の大会と 郡大会で善戦



が樹立され、児童の体位や技術の向上で毎年たくさんの新記録が続出しておどろくばかりです。

郡大会でも健闘 九競技で一位を獲得

郡大会は郡小学校体育連盟の主催で、八月九日井口小学校プールで開催され、郡内十八か校の五、六年生約五百人が参加、当町からは四か校の選手が出場して健闘してくれました。

Table with 4 columns: Distance, Stroke, Gender, Name/School. Includes entries for 50m Butterfly, 50m Backstroke, 200m Medley Relay, etc.

Table with 4 columns: Rank, Distance, Stroke, Name/School. Lists winners for 1st, 2nd, and 3rd places in various events like 50m Backstroke, 100m Individual Medley, etc.

町大会は

新記録が二十個

町大会は町小学校体育連盟の主催で七月二十七日に開かれ、町内四か校の五、六年生二百人が参加、七つの競技種目に挑戦しました。

川口勢は川口小学校を中心にも多くの上位入賞をはたし、個人種目で八競技とメドレーリレーで一位を獲得したほか八種目で二位につけ、郡大会記録を川口勢で二つ新記録に更新するなど、前年を上まわる好成績を残しました。

町大会新記録樹立者

Table with 4 columns: Distance, Stroke, Gender, Name/School. Lists record holders for 100m Medley, 100m Freestyle, 50m Freestyle, and 50m Butterfly.

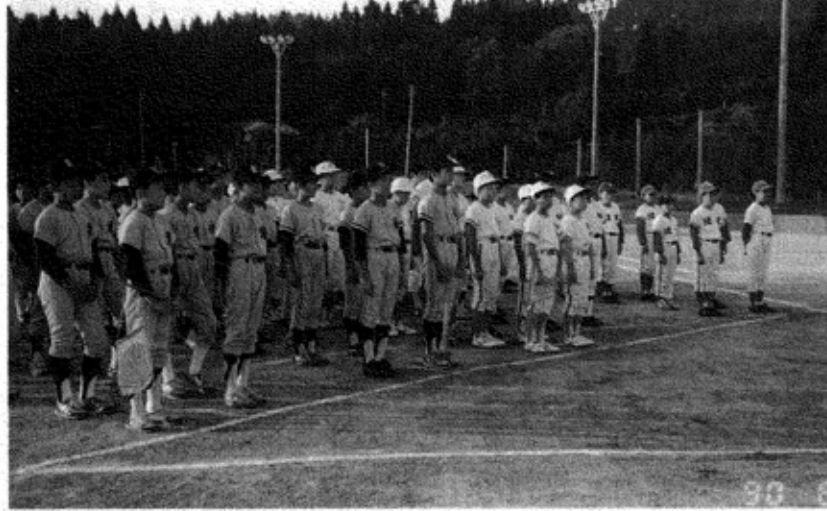
郡大会上位入賞者

Table with 4 columns: Rank, Distance, Stroke, Name/School. Lists top performers for 100m Freestyle, 50m Freestyle, and 50m Butterfly.

郡市対抗陸上で 二人が入賞

八月十二日、新潟市で開催された新潟県郡市対抗陸上競技大会で、北魚沼郡代表として出場した当町の二選手が健闘して、次のように入賞をはたしました。
●一般の部
砲丸投 岡村 正高(岩出原)
走中跳 ジュニアの部 大淵 英司(川口中)

スポーツの町宣言



県青年大会に出場した当町男子バレーボールチームが、健闘して三位に入賞しました。大会は八月十八日と十九日の両日佐渡の両津市で行われ、総合体育館でのバレーボール競技には予選を通過した男子十一チーム、女子十チームが参加、当町男子チームは緒戦の佐渡郡チームを二対〇で破るなど、善戦健闘で入賞をはたしました。

教育長杯少年野球
第二回教育長杯争奪少年野球大会は、八月二十一日と二十二日の両日ナイトゲームで実施され、町内スポーツ少年団の五チームが参加しました。

教育長杯少年野球



試合は保護者多数の応援の中で、東部ファイターズが昨年に続いて優勝、田麦山若獅子が二位となりました。

西川口少年球友会	3	2	優勝
田麦山若獅子	16	13	東部ファイターズ
泉水少年野球団	13	4	
和南津・中山少年野球団	2	8	
東部ファイターズ	8		
2位 田麦山若獅子			

県青年大会バレーボールで三位入賞!!

県青年大会に出場した当町男子バレーボールチームが、健闘して三位に入賞しました。大会は八月十八日と十九日の両日佐渡の両津市で行われ、総合体育館でのバレーボール競技には予選を通過した男子十一チーム、女子十チームが参加、当町男子チームは緒戦の佐渡郡チームを二対〇で破るなど、善戦健闘で入賞をはたしました。



▲ 8月4日 200人余が参加ゼッケンをつけて役場前を出発

全員が十八キロを完歩

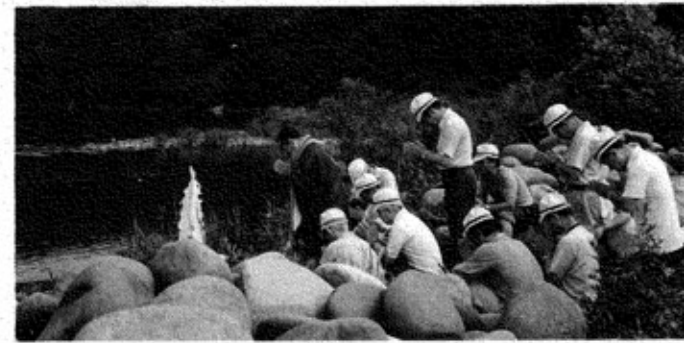
役場前を出発する頃はまだまだ明るく、ゼッケンを胸に六時半に出発。高速道越後川口サイビスエリアで夕食を兼ねた休憩をする時はもう暗やみ。往きは登坂でみんな汗びっしょりになって、もう少しだががんばろうと声をかけ合った。

山頂は標高三百三十六メートルで涼味満点、満月に近い月明りの中で川口や小千谷の街の灯を下界に眺めたり花火大会…。十八キロメートルに挑戦した五歳から六十五歳までの参加者は、完歩した満足感にひたつてくれたようです。



◀ 月明りの中を頂上を目指す

小型船舶会が川まつり安全祈願



▲ 水難事故防止を願い「安全祈願」川口ヤナ附近の魚野川左岸で

水のシーズンを迎えた、町小型船舶会は去る七月八日、川まつりを開き、川の安全祈願(写真)を行った。同会は、川舟の仲間が集って昭和三十二年に作られた会で、会員は現在三十六名。この日、青柳町長を迎え、船舶会のメンバー二十人余りが参加。お祓いを行い水難事故防止を願った。その後、早速会員による操縦訓練が行われ、船外機の音を響かせながら魚野川に繰り出して行った。また、同会は水難事故による救助活動にあたるなど、町の防災に一役買っています。訓練の後には皆んなで、川原でバーベキューに舌づつみ、会員のコミュニケーションを図っていた。



▲ 試乗する「青柳町長」



▲ 水上で「記念撮影」

河川パトロール……町環境衛生組合

環境美化にご協力を

町環境衛生組合は去る七月二十一日、不法投棄による河川環境のよごれや、釣り人などによる空カンのポイ捨て等の河川パトロールを行いました。これは、夏の環境美化運動(七月一日〜八月三十一日)の一環として、魚沼漁協川口支部と協力して行ったもので、この日は、魚野川沿八郎場の河川から信濃川沿の牛ヶ島までの間で、空カンなどを拾いながら、特に不法投棄の恐れのある場所や、釣り場などを中心としたパトロールを展開しました。

重点的にパトロールを展開しました。その結果、今回のパトロールでは、不法投棄はなかったものの、釣り人が捨てたと思われる場所もあり、組合員らは袋いっぱい集めていました。年々環境美化に対するモラルの向上は高まってきていますが、いままの感があります。そこで、これからは海や山、川と出かける機会が多くなります。自然はみんなのもので、一人ひとりが注意し、ゴミを持ち帰るようにしましょう。

初心者ワープロ講座

- ◆ 内容 初めワープロを使用する人を対象。パソコンでワープロの基本操作と文章の作成方法を実践。
- ◆ 会場 小千谷西高校 電子科
- ◆ 日時 10月8日〜29日まで 毎週月、水、金の三回 夜6時半〜9時半
- ◆ 定員 18歳以上 40名
- ◆ 費用 教材等2千円
- ◆ 申込方法 郵便ハガキで、郵便番号・住所・氏名・性別・年齢・職業・電話番号を記入
- ◆ 申込先 〒947 小千谷市内3-3-11 県立小千谷西高等学校 ワープロ講座係
- ◆ 申込切 9月25日(火)
- この講座は、県教育委員会社会教育課の高校開放講座の一つです。

川口町教育委員会

平成三年度採用

川口町職員

上級(大卒) 初級(高卒) 試験

平成三年度川口町職員の採用試験を、次により行いますので、受験される方は、至急役場総務課まで申し込みください。

■上級(大卒者)試験

- 一、職種 一般行政職(一般事務及び土木技術)
二、受験資格 昭和四十年四月二日から昭和四十四年四月一日までに生れた者
三、採用予定人員 二名

■初級(高卒者)試験

- 一、職種 一般行政職(一般事務及び土木技術)
二、受験資格 昭和四十四年四月二日から昭和四十八年四月一日までに生れた者
三、採用予定人員

■上級・初級試験共通

- 一、試験日時及び試験場 平成二年十月七日(日) 午前九時
二、試験場 川口町役場
三、試験の方法 大学卒業程度(上級試験)及び高校卒業程度(初級試験)の内容で、地方公務員として必要な一般教養試験及び職種として必要な専門試験、作文試験、面接試験、健康診査を行います。
○合格者の決定及び発表 試験の結果に基づいて、合格者を決定し、平成二年十月下旬に発表し、川口町役場掲示板に掲示するほか、合格者に通知します。
詳しくは、川口町役場総務課にお問い合わせください。
☎ 八九一三二一一

平成三年度 小千谷地域 広域事務組合

消防職員募集

- 一、応募資格 小千谷市・川口町・山古志村に住所を有する者(有することとなる者を含む)で
●高卒・短大卒二十三歳未満(昭和四十三年四月二日以後に生れた者)
●大学卒二十六歳未満(昭和四十年四月二日以後に生れた者)
●普通自動車免許を有すること(新卒者については、採用後六ヶ月以内に取得すること)
二、採用予定人員 二名
三、採用予定年月日 平成三年四月一日
四、試験日及び試験場
●第一次試験 九月三十日(日)小千谷市役所
●第二次試験 第一次試験の合格通知を行う際通知する。
五、試験の方法
●第一次試験 教養試験、消防職員適応性検査及び作文
●第二次試験 第一次試験合格者について口述試験(主として人物について面接)及び消防職員として必要な体格・体力の有無及び疾病等について検査します。
六、受験手続及び申込み方法 受験申込書・履歴書・身上書(いずれも受付機関にあり)及び高等学校在学中の者は調査書(学校交付のもの)、その他の者は成績証明書(応募資格を満たす学校交付のもの)を次の受付機関のいずれかに提出する。
・小千谷市役所総務課
・川口町役場総務課
・山古志村役場総務課
七、受付期間 平成二年八月二十七日(月)から平成二年九月十八日(火)までの平日は午前八時三十分から午後五時まで、土曜日は正午まで(閉庁土曜日を除く。)
郵送の場合も、九月十八日(火)までに到着したものに限り有効。
八、合格発表 試験結果はすべて本人あて通知する。第二次試験合格者は、平成三年四月一日採用職員の候補者とする。

学生募集

新潟県農業大学校

- 一、募集人員 総合農業科 二十五人 蚕業科 五人 園芸科 二十人 畜産科 十五人
二、修業年限 二年
三、応募資格 高等学校卒業生(平成三年三月卒業見込みを含む)又はこれと同等以上の学力があり
おおむね二十五歳以下の者
四、願書の受付期限
●推せん入校 平成二年十一月十二日(月)十一月二十四日(土)
●一般入校 平成三年一月四日(金)一月十九日(土)
●推せん入校 平成二年十一月五日(水)
●一般入校 平成三年二月一日(金)
五、試験日
六、試験場所 新潟県農業大学校
※詳細については、同校 ☎ 〇二五六一七二一三二四一へお問い合わせください。

国勢調査に

ご協力を

お願いします

十月一日、全国一斉に国勢調査が行われます。

この調査は、大正九年から五年ごとに行われ、十五回目に当たる今回は、特に二十一世紀の日本を考える基礎づくりという重要な意味があります。

調査結果は、国や都道府県、市区町村が、これからの行政を考えていく大切な資料となり、わたしたちの暮らしのさまざまな分野で生かされていきます。

赤ちゃんからお年寄りまで、日本に住んでいるすべての方が調査の対象となります。九月下旬に、世帯ごとに調査票を配布します。アパートなどに一人暮らしの方、下宿している方は、未成年でも学生でも、世帯主としてご記入ください。

調査票にある質問は二十二項目。お答えいただいた内容を統計以外の目的に使用することは、法律で固く禁じられ

10月1日(月)は 国勢調査の日です

数字から～描く日本の～ゆめ・みらい



ています。ご安心のうえ、ありのままをご記入ください。調査票は後日、調査員が集めるうかがいます。外出がちな方は家にいらっしやる日をお伝えください。皆さんのご協力をお願いいたします。

国勢調査 新潟県

人口予想懸賞募集

また、県では今回の国勢調査による、県の人口予想懸賞募集を行っています。奮ってご応募ください。

▼懸賞募集事項

- 平成二年十月一日(月)国勢調査による新潟県の人口。
▼応募資格 新潟県内に居住している者
▼応募方法 官製ハガキを用い、一枚に一点のみとするが、応募点数は制限しない。

※なお、「はがき」には次の事項を明記してください。
一、「国勢調査の新潟県人口予想」と記入する。
二、数字は算用数字ではつきり書くこと。
三、住所・氏名・性別・年齢及び職業を明記する(要)。
あて先 新潟市新光町四番地一 新潟県企画調整部統計課内

平成二年度後期

婦人就業技術講習生募集

- 講習科目・定員・内容 ワープロ 一五名
ワープロ本体、キーボード、プリンター等の操作、文字入力、漢字変換、罫線、文書管理等の操作、表作成、住所録作成、ブロック編集等文書作成
■実施期日・時間 十月一日(月)から 十一月十九日(月)まで 毎週 月・水・金曜日 九時三十分から 三時三十分まで
■講習場所 魚沼地域職業訓練センター 千九四九一六六 南魚沼郡 六日町西泉田四八一
☎ 〇三三七二二二五五七
■製作材料費 三〇〇〇円程度の負担
■申し込み場所 九月三日(月)から二〇日(木)まで右記魚沼地域職業訓練センターへ所定の用紙でお申し込み下さい。(用紙の郵送希望者は、62円切手貼付の返信用封筒を同封のうえ、お申し込み下さい。)
受講可否は一週間前頃に通知

Table with 2 columns: Year and Population. Rows: 昭和55年国勢調査 (2,451,357人), 昭和60年国勢調査 (2,478,470人), 平成元年新潟県推計 (2,479,435人)